

三重県経済の動向

No.485

HRI(株)百五総合研究所 地域調査部（谷ノ上・前田）

【現在の景気】：緩やかに回復している。個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しており、生産は回復、雇用は高水準で推移。

【当面の見通し】：緩やかな回復が続く。生産の回復、設備投資のさらなる持ち直しが期待されるなか、雇用は高水準を維持し、所得環境の改善が期待される。

個人消費：一部で弱い動きも持ち直し

12月の百貨店・スーパー販売額（既存店、速報）は前年比0.1%減で17か月連続の減少。12月のコンビニ販売額（速報）は1.5%増で2か月連続の増加。家電大型専門店販売額は3.1%増で2か月連続の増加。ドラッグストア販売額は8.9%増で33か月連続の増加。1月の乗用車販売台数（普通+小型+軽）は3.3%増で15か月連続の増加。小型（△3.3%）が2か月ぶりに減少したものの、普通（+1.3%）は2か月連続の増加、軽（+9.9%）は10か月連続の増加。12月の家計消費支出（津市・二人以上の世帯）は14.1%増で2か月ぶりに増加、3か月後方移動平均では2か月ぶりの増加。

住宅建築：足踏み

12月の住宅着工戸数は、前年比16.8%減で2か月ぶりの減少。3か月後方移動平均では8.0%の減少。持家（△4.3%）が4か月連続の減少、貸家（△30.4%）と分譲（△28.2%）は2か月ぶりの減少。床面積は2か月ぶりの減少。

設備投資：持ち直し

12月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比20.0%増で2か月連続の増加、3か月後方移動平均では6か月連続の増加。1月の貨物自動車販売（普通+小型+軽）は、前年比5.9%増と3か月連続で増加。3か月後方移動平均では3か月ぶりの増加。小型貨物（△10.8%）は3か月ぶりに減少したものの、普通貨物（+6.7）は2か月ぶりの増加、軽貨物（+13.1%）は2か月連続の増加。

公共工事：横ばい

1月の公共工事請負件数は前年比8.2%増で4か月連続の増加。請負額は、52.3%増で4か月連続の増加、年度累計では5.6%増と2か月連続の増加。増加の主な要因は、中部地方整備局（国）において「北勢バイパス」関連、市町では、四日市市において「吉崎ポンプ場」関連、大台町において「宮川特産品加工施設」関連の大型工事が、また三重県市町総合事務組合（その他）において「共有デジタル地図共同整備事業」関連の大型業務委託があった影響等による。

輸出入：上向く兆し

12月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比15.6%減で2か月連続の減少。3か月後方移動平均では3か月ぶりの減少。主要港である四日市港は15.2%減で2か月連続の減少。四日市港では、品目別で石油製品、科学光学機器などが増加したものの、自動車、金属加工機械、写真用・映画用材料などが減少。県内2港の通関輸入額は、28.7%増と6か月連続の増加。

生産活動：回復

11月の鉱工業生産指数（季調済）は146.2と前月比（+5.6%）では2か月連続の上昇、原指数は147.5と前年比（+5.9%）では8か月連続の上昇。業種別に前月比をみると、金属製品、窯業・土石製品、プラスチック製品などが低下したが、電子部品・デバイス、食料品、輸送機械などが上昇。在庫指数（季調済）は98.8で、前月比5.3%低下と2ヶ月連続の低下。

雇用情勢：高水準続く

12月の有効求人倍率（季調済）は1.67倍で、前月比0.02ポイント低下、56か月連続で1倍を超え、全国を大きく上回って推移。新規求人倍率（季調済）は2.45倍で、前月比0.20ポイント上昇。新規求人数（原数値）を産業別にみると、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業（他に分類されないもの）などは前年比減少したが、建設業や、輸送用機械器具、電気機械器具、金属製品などの製造業、運輸業、郵便業、小売業などは増加。正社員有効求人倍率（原数値）は1.17倍（前年差+0.18ポイント）で前年を上回って推移し、6か月連続で1倍を超えた。

（トピックス）

- 中国の海運会社SITCコンテナライズ社が、新たに四日市港と中国・上海港などを結ぶコンテナ貨物の定期航路を開設した。中国向けの、輸出（貨物量）は化学薬品や自動車部品、輸入は日用品雑貨が多く、これらの取扱量増加が期待される。便数は週1便で、1隻当たりのコンテナ積載量は790TEU。四日市港を経由する航路の開設は2年10ヵ月ぶりで、18航路目となる。